



開催日時

2024年 10月26日（土）・27日（日）

開催会場

広島城とその周辺
ひろしまスタジアムパーク

2024年度 基本構想案

ひろしまフードフェスティバル実行委員会

実施概要案

タイトル	ひろしまフードフェスティバル ～秋の大収穫祭～
キャッチ	広島食文化を満喫！
日時	2024年10月26日(土)、27日(日) 両日とも10時～17時
会場	広島城とその周辺 ひろしまスタジアムパーク
備考	同時開催(予定)「広島城大菊花展」※10/26～11/10
昨年動員数	148,000人 (2日間)

ひろしまフードフェスティバルのコンセプト

・広島県内最大級の秋を代表する食イベントであり、五穀豊穡を祝う日本の祭り・**広島**の**風土**を体感できる「ひろしまフードフェスティバル」の継承

◎食欲の秋、「地産地消」をテーマに

県内各地の名産物産を一堂に集め、大きなスケールで賑わいを創出。「地産地消」をテーマに、広島の食の再発見や啓発、各種交流の場を提供する。

◎食に限らない『広島風土』を体感

会場のシンボルでもある「広島城」を中心に展開し、伝統芸能の広島神楽や毛利氏ゆかりの武将隊など、広島『風土』に触れる機会を提供。

◎食の安全と環境への配慮

食を扱うイベントである以上、参加者は食の安全には万全な体制で取り組み、安心食材の提供を心がける。

今回も、食の安全・安心の徹底を図るため、出展者に『出展誓約書』の提出を義務付ける。同時に会場で出るゴミは区分し、収集&リサイクル処理することで、環境に配慮したイベントとして取り組む。

◎県外からの観光客獲得にむけての取り組み

県外からの来場者(観光客)増加を目指し、より「広島らしさ」「地域らしさ」を意識したコンテンツの強化を図り、各関係機関などとの連携を図る。

また、テレビ・ラジオの番組、WEBを通じて、来場出来ない方にも広くアピールする。



フードフェスティバルの背景

「広島城秋祭り」と「フードフェスタ広島」を統合して「ひろしまフードフェスティバル」となり、今年で18回目（2020・2021年はカウントせず）の開催となる。

参加出展ブースの数や、数十万人もの来場者があるこのイベントは、ゴールデンウィークの「ひろしまフラワーフェスティバル」に次ぐ、広島を代表する秋の大型イベントとなっている。

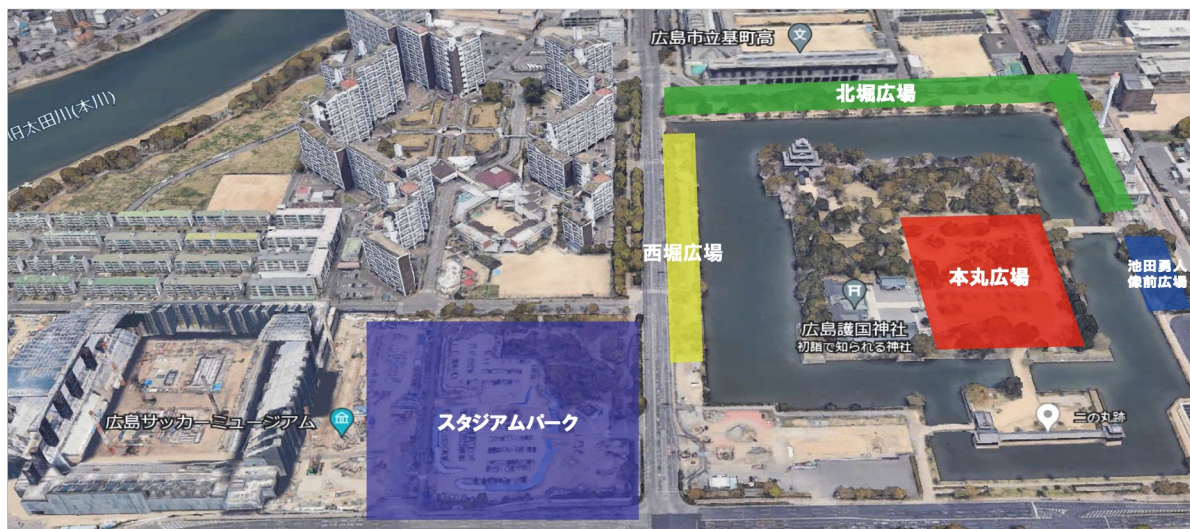
2023年5月に新型コロナウイルス感染症の法的な位置付けが「5類」に移行したことにより、同年10月にコロナ対策を緩和し、フルパッケージで開催。大勢の来場者で賑わった。

2024年度 本イベントの取り組み概要

- | | |
|-----------|---|
| コンテンツ | これまで実施してきた「地域を特色化した食の企画」を継続的に展開。
広島らしさ、広島郷土色を引き続き全面に打ち出す。 |
| ゾーニング | 従来のエリア（広島城本丸・北堀・西堀）に加えて、ひろしまスタジアムパークでも展開。
広島県内23市町の各エリアからの出展を推進し、地元企業系の出展を含め、
来場者にとって興味深いゾーニングを目指す。 |
| お客様満足度アップ | 来場者が楽しく快適にお祭りを楽しめるよう、すべての面でお客さまの立場
に立って企画立案・実施する。
県外や海外からの観光客対応に関しても協議する。 |
| 出展社の獲得 | 来場者・運営スタッフの安全を第一に考え、コンプライアンス・食の安全安心、
基本コンセプトである「地産地消」の徹底を図る。 |
| WEBでの展開 | 一昨年開設した特設WEBサイトでは、引き続き、県内の店舗紹介やリアル開催当日の
イベント紹介（マップやプログラムなど）を掲載予定。
県内の「食のプラットホーム」として、本イベントに出展しなくても、各自治体や地元企業のPR
につながる施策を実施する。 |
| メディア展開 | テレビ、ラジオの番組やコーナーで地産地消を広くアピールしていく。 |

会場エリア構想

「ひろしまフードフェスティバル ～秋の大収穫祭～」として、広島県産品を販売するブースを設ける。県内全23市町からの出展を目標に実施。



■全体 想定エリア／5エリア 272ブース

●広島城とその周辺 想定エリア／4エリア 192ブース

【西堀広場】35ブース 【池田勇人像前広場】8ブース

【北堀広場】39ブース（西側）、38ブース（東側） 計 77ブース

【本丸広場】26ブース（上段）、46ブース（下段） 計 72ブース

●スタジアムパーク 想定エリア／1エリア 80ブース

【スタジアムパーク広場】80ブース

- ▶本丸エリア上段については、昨年に続き活用する予定
- ▶スタジアムパーク広場では、沿路及び人工芝エリアを活用することで調整中

●その他補完情報

- ・三の丸…中央公園一体の開発事業の影響で、展開が困難。
※三の丸での展開は2026年から可能（一部は2025年から）
- ・二の丸…広島城大菊花展が同時開催される予定。

コンテンツ案

● デジタルスタンプラリー

- ・会場を楽しく周遊してもらうため、デジタルスタンプラリーを実施。
新しいエリアの楽しみ方や広島城周辺の歴史文化を紹介。
また、工事中の三の丸エリアについても完成後のイメージなども紹介する。
参加者には、抽選で県内産品詰め合わせなどをプレゼント。

● テレビ・ラジオ特番

- ・例年同様に、来場者だけではなく、テレビ・ラジオを通じて、地産地消のPRやひろしまフードフェスティバルの開催を広く告知していく。

● テレビ番組連動企画

- ・昨年好評を得た、池田勇人像前で展開した「元就。ひろば」を今年も実施予定。
テレビ番組で取り上げた、県内で頑張る生産者やユニークな店舗がブースを出展。
番組内での事前告知もあり、フードフェスティバル全体の集客にも貢献。

● その他新企画案 ※検討中

- ・RCCで人気のドラマや番組のグッズ販売コーナーを設け、来場促進を図る。
- ・会場内の周遊企画として、来場者に各広場の出展ブースの中からお気に入りのメニューを1品選んでもらい、人気投票。一番人気の高かったブースに投票した方の中から抽選でプレゼント。
- ・遊具や体験型学習コーナーを設けて、親子で楽しめるスペースをつくる。
- ・今年も来場者WEBアンケートの参加率を高めるため、抽選で県内産品をプレゼント。
- ・来場の記念となるよう、広島城やエディオンピースウイング広島などの近くにフォトスポットを設ける。
- ・X（SNS）にて「#ひろしまフードフェスティバル」をつけて投稿してくれた人の中から、抽選でプレゼント。
- ・海外からの観光客増加に伴い、通訳・ガイドの配置や案内看板への英語表記等、案内体制を整える。

その他、協賛社獲得による新たな企画も検討していく。